



【ふち図書館まつり開催！】

令和4年9月17日（土）に「ふち図書館まつり」を開催しました。おはなし会やミニ書庫ツアーなど様々な催しを実施しました。詳細は「特集1」で紹介しています。

目 次

- ▶ 特集1 「今年も開催、ふち図書館まつり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
- ▶ 特集2 「北海道立図書館利用登録会を実施しました！」・・・・・・・・・・ 3
- ▶ 活動報告1 〔職員研修〕 障がい者接遇・手話講座・・・・・・・・・・ 4
- ▶ 活動報告2 連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～6
- ▶ 活動報告3 館内イベント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～10
- ▶ 活動報告4 展示を振り返って・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～15
- ▶ 活動報告5 研修事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16～17
- ▶ 令和4年度（2022年度）北海道立図書館協議会・・・・・・・・・・ 18
- ▶ 令和4年度（2022年度）
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰・・・・・・・・ 19
- ▶ 令和4年度（2022年度）下半期の事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ▶ 令和5年度（2023年度）事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

今年も開催、ぷち図書館まつり

■日 時：9月17日(土) 10:00~15:00

■会 場：研修室、1階エントランスホール、中2階 多目的室



「図書館まつり」は、地域住民の方が読書に親しみ、当館に足を運んでいただく機会になればと、道立図書館が創立90周年を迎えた平成28年から開催しています。コロナ禍で中止になった年もありましたが、今年度は昨年度に引き続き、感染対策を講じた「ぷち図書館まつり」として開催しました。

開催にあたっては、北星学園大学フィールド実習生や、北海道立埋蔵文化財センター、一般社団法人北海道ブックシェアリング、かるちやちや.net（文化施設連絡協議会）等の近隣機関・団体、当館と相互協力連携を締結している株式会社北菓楼のご協力を得て、

延べ1,072人の方にご来館いただきました。実施した各事業の概要は次のとおりです。

○まが玉づくり体験（北海道立埋蔵文化財センター）

北海道立埋蔵文化財センター職員を講師に迎え開催しました。事前に配付した整理券があつという間になくなってしまふ人気だった体験作業は、切り出した石を紙やすりで磨いていく地道なものでしたが、参加者の皆さんは根気よく取り組み、完成品を満足そうに首から下げて帰る子どもたちも多く見受けられました。



また、発掘されたまが玉や土器の実物を触る体験もあり、北海道の歴史に触れる貴重な機会となりました。

○おはなし会（北星学園大学フィールド実習生）

当館での実習の一環として、北星学園大学生5名がおはなし会の企画から当日の運営までを行いました。

午前・午後の部とも定員を超える参加があり、大人も子どもも、メインの絵本の読み聞かせのほか、手遊びや歌も含めたプログラムを楽しみ、子どもたちの楽しそうな声が響きました。



○ミニ書庫ツアー

普段は入ることのできない書庫をめぐりながら、所蔵資料の紹介を行う30分間のツアーを行いました。

また、ミニ書庫ツアー、おはなし会、まが玉づくり体験に参加した方のうち、あたり付き整理券をお持ちの方にはお菓子（提供：(株)北菓楼）を、他の方には当館オリジナルクリアファイルのプレゼントをお持ち帰りいただきました。



○古本市（一般社団法人北海道ブックシェアリング）

非営利団体「北海道ブックシェアリング」による、再活用図書の販売を開催しました。開場を今か今かと待つ人も多く、開場後も、本を買い求める人が引っぱりなしに訪れ、終始盛況でした。

なお、売り上げは北海道ブックシェアリングの道内の読書環境整備のための活動資金に充てられます。



○かるちやるnetパネル展（9月29日（木）まで開催）

当館も参加している、新札幌ー江別エリアにある文化施設のネットワーク「かるちやるnet」の紹介パネル展示を行いました。普段から、当館階段横の壁面展示スペースで各施設のパンフレットを配布していますが、パネルで紹介することで改めて知っていただく機会となりました。

○雑誌スポンサー企業紹介展示（9月29日（木）まで開催）

当館の雑誌収集をサポートしていただいている企業5社（(株)わかさいも本舗、(株)富士メガネ、(株)北菓楼、(株)コンサドーレ、北海道農業協同組合中央会）の紹介パネルの展示と、パンフレットの配布を行いました。



○利用者カード新規登録所

中2階スペースに臨時の新規利用登録所を開設し、併せて電子図書館サービス（「Kinoden」）のPRや、タブレット端末を使用したデモ等を行いました。

（事業運営プロジェクトチーム）

北海道立図書館利用登録会を実施しました！

10月30日（日）、紀伊國屋書店札幌本店1階「インナーガーデン」で、北海道立図書館利用登録会を実施しました。江別市にある当館まで来館しなくても、事前にホームページから申請して身分証明書を提示すると、すぐに「利用者カード」を受け取ることができるという初めての取組でした。

当日は、学生や年配の方、ご家族で来店された方など、171名の登録がありました。登録された方には当館オリジナルクリアファイルをプレゼントし、図書館の利用案内やインターネット予約貸出サービス等のご案内も行いました。

利用登録受付の隣には、電子図書館「Kinoden」の体験コーナーも設置し、紀伊國屋書店による電子書籍の紹介や使い方の説明も行いました。利用登録後、端末を使って実際の画面を見ながら、使い方を熱心に聞いている方が多く見られました。

今回の登録会をきっかけに、より多くの方に電子書籍や当館を利用していただけたいと思います。

また、12月20日（火）には、北海道武蔵女子短期大学で利用登録会を行いました。当日は、授業の合間の休み時間や授業終了後に多くの学生や教職



員の方に来ていただき、107名の登録がありました。

紀伊國屋書店による電子書籍の使い方の紹介では、実際の端末の電子書籍の画面に、学生たちが大変興味を持って見ている場面もありました。基礎ゼミナールの学生を連れて登録に来られた先生もいらっしゃるなど、大変好評でした。

就活やレポート、趣味等に役立つコンテンツもありますので、様々な場面で電子書籍を活用されることを願っています。

（一般資料サービス課）

〔職員研修〕 障がい者接遇・手話講座

当館では、サービスの向上と、職員のスキルアップを目的とした研修に取り組んでいます。今回は、障がい者接遇をテーマに、研修講座を実施しました。

■日 時：10月28日（金）13：00～15：00

■会 場：研修室

■内 容：「障がいのある方へのよりよい対応」

講師：北海道教育庁学校教育局特別支援教育課主査 吉田 卓郎 様

講座ではまず、視覚、聴覚、知的、肢体不自由、自閉、情緒の各障がいについて、障がいの特徴



と、日常生活で困難な場面や対応で心がけるポイントを教わりました。スライドを用いた説明のほか、画像や音声資料で、障がいのある人の見え方や聞こえ方を擬似的に体験しました。講師の吉田主査は、対応には、相手を尊重したコミュニケーションと、柔軟性が求められると言います。「その時の環境や状況によっては、誰もが、障がい者(=できないこと・困難なことがある状態)になる可能性

があります。利用者に応じた合理的配慮が提供できれば、誰もが快適に施設を利用できます」。

また、講座の後半では、基本的な手話を教わりました。あいさつや、「どうしましたか？」などの声かけ、「わかりました」などの応答に関わる言葉を、実際に体を動かしながら学びました。「手話では身振りや表情も重要。伝えようとする気持ちが大切です」と吉田主査。



講座後のアンケートでは、「障がいの特性がよくわかった」、「相手の立場に立って考えるこ

との大切さを改めて学ぶことができた」などの感想がありました。今回の研修を活かし、誰もが利用しやすい図書館を目指して、サービス提供に努めていきます。

(研修プロジェクトチーム)

連携事業

【道立図書館・道立近代美術館連携展示】

当館では、北海道立近代美術館と連携して相互の利用者サービスの向上を図るため、美術館内の特設コーナーで、展覧会をより深く楽しむための資料展示を平成30年から続けています。

今年度の第4弾は、特別展「国宝・法隆寺展」(9月3日(土)～10月30日(日))、第5弾は、特別展「砂澤ビッキ展」(11月22日(火)～1月22日(日))において、それぞれの展覧会に合わせた関連図書や雑誌を会場出口に展示しました。砂澤ビッキ展では、美術館担当者からの要望でビッキと親交のあった写真家・渥美頭二氏の写真集も加え、来場された多くの方々にご覧いただきました。



「第4弾 国宝・法隆寺展」



「第5弾 砂澤ビッキ展」

(一般資料サービス課・北方資料サービス課)

【道議会図書室・道立図書館連携展示】

議会図書室の新着図書に関連した本を当館所蔵資料から毎月10冊ほど選択して貸し出し、展示を行う「新着図書+ (プラス)」コーナーの他に、今期は北海道議会議員向けの研修会や講演会のテーマに関連した資料展示も行っています。

9月5日(月)から9日(金)までは研修会「千島海溝型超巨大地震への備えと防災・減災対策」に関連した資料展示、12月14日(水)から28日(水)までは講演会「新たな公共交通への取組みについて」に関連した資料展示を行いました。



「千島海溝型超巨大地震への備えと防災・減災対策」



「新たな公共交通への取組みについて」

(一般資料サービス課)

【青少年アートギャラリー（江別高等学校）】

当館の中2階多目的室で実施している青少年アートギャラリーにおいて、10月29日（土）から11月8日（火）までの期間、江別高等学校生活デザイン科の学科展示を行いました。



ドレス、藍染め、デザイン画、織物など、高校生による服飾に関する作品が多数並び、ご来館された方々に学習の成果を披露しました。

また、期間中には、会場内に染め物や織物、ソーイングなど、ファッションの歴史やアパレル業界への進路の参考となる図書など道立図書館所蔵の資料25冊も展示しました。



青少年アートギャラリーは、令和2年度（2020年度）から、子どもたちの作品を館内に展示し広く道民に鑑賞してもらうことを目的に開設しております。詳しくは、当館ホームページに掲載しています。

[北海道立図書館トップページ](#)>[学校の先生方へ](#)>[来館・利用](#)>[青少年アートギャラリー](#)

（管理課・一般資料サービス課）

館内イベント

【第23回資料で語る北海道の歴史】

■日 時：10月8日（土）14：00～16：00

■会 場：研修室

■内 容：講義「近藤重蔵の蝦夷地・上原熊次郎の江戸・箕田市二の札幌～身分と出世の物語～」

講師：北海道史研究協議会常任幹事、北海道大学文学研究院教授 谷本 晃久 様

江戸時代は「強固な身分制の時代」というイメージがあります。しかし、はたしてそれは実態を現



していたのでしょうか？

今回の講演会では、蝦夷地探検で有名な近藤重蔵、アイヌ語通詞として素晴らしい実績を残した上原熊次郎、そして今回の講師である谷本様が明治初期の文書資料から発見した旧士族の箕田市二を採り上げました。そして、3人の足跡から、江戸時代の身分制にも固定された階級を乗り越えるための「出

世」という回路があったこと、特にフロンティア的な風土があった蝦夷地では出世の余地が大きかったことを、多くの史料をもとに明らかにしていきました。

また、講演の中では、旧薩摩藩士であり西南戦争の帰順者であった箕田市二を役人として受け入れたことを示す史料から、北海道には武家のエートスを受容する（誇りを受け入れる）おおらかな空気があったことについてのお話がありました。

近年、歴史研究はめざましい進歩を遂げています。かつて私たちが学んできた、またはドラマなどですり込まれてきた歴史像には次々と疑問が突きつけられていると言って良いでしょう。日本近世＝「江戸時代」についても同じです。当時の身分制度は「ガチガチ」に固定されていたものなのか、人々の多くは「米作を生業とする農民」で厳しい年貢と貧困にあえいでいたのか、一般的にイメージされる「鎖国」は本当にあったのか等々。

今回の講演会「近藤重蔵の蝦夷地・上原熊次郎の江戸・箕田市二の札幌～身分と出世の物語～」は、まさに実際の史料を通じて身分制に関する私たちの思い込みに一石を投じるものであり、谷本様の示した新しい歴史像に刮目の2時間でした。

(北方資料サービス課)

【日本食文化を巡る書庫ツアー】

■日 時：11月11日（金）14：00～16：00

■会 場：研修室、第一書庫、第二書庫、北方資料室書庫

「日本食文化を巡る書庫ツアー」をテーマとして、昭和時代に出版された料理本や食に関する雑誌を中心に普段は入ることができない書庫をご案内し、9名が参加しました。

始めに農林水産省「食文化のポータルサイト」により、ユネスコ無形文化遺産へ登録された「和食」について説明を行い、味の素食の文化センターのホームページで、江戸の食文化を知る「錦絵



ギャラリー」や「食文化展示室」などを中心に食文化に関する資料を紹介しました。また、食文化や



食材、料理に関連する当館の所蔵資料を紹介し、当館ホームページから関連する本の探し方についての説明も行いました。

参加者からは、「普段は知ることのないバックヤードのお仕事を垣間見ることができて面白かった」、「様々な雑誌や新聞まで大切に保管されていて感心しました。本だけでなく広く文化を保存する場所なのだとわかりました」などの感想をいた

だきました。

北方資料室では、北海道の郷土食など食に関連する資料のほか、札幌市内の航空写真の紹介もあり、当時住んでいた地域を熱心に見ている参加者もいました。

今回の書庫ツアーは講義も合わせて、2時間という長時間での開催でしたが、楽しみながら図書館を身近に感じる良いきっかけになったようです。



(一般資料サービス課)

【映像によみがえる北海道】

- 日 時：12月3日（土）14：00～16：00
- 会 場：研修室
- 内 容：講義「映像によみがえる北海道～北千島～」

講師：北海道博物館学芸員、北海道考古学会会長 右代 啓視 様

昭和12年に、道庁拓殖部長を団長として結成、派遣された「北千島調査隊」。調査の目的や隊の編成等を記録した資料が残存せず、記録フィルムも軍による検閲で没収されたカットがあり、またフィルム自体にも複数の編集バージョンが存在するなど、これまで調査の実態は詳らかではありませんでしたが、残された映像と撮影技師の日記から丹念に足取りを追うことで、その目的や当時の北千島の状況が次第に明らかになりました。



北千島調査隊が残した16ミリフィルムには、当時の北千島周辺海域が非常に豊かな漁業資源に恵まれており、国策として漁業が行われていたこと、そこに進出した漁業会社が母船方式による近代漁業技術を駆使していたこと、また極寒の気候と濃霧の中で牧畜や毛皮のための動物飼育が行われていたこと、発掘された遺跡から熊の頭骨が発見されて



いたことなどが撮影されており、その映像は、北千島一帯が当時の北海道にとって非常に価値ある、豊かな地域であったことを示していました。

参加者からも「第2次大戦前の千島列島の様子を映像で見ることができて良かった」、「北千島に日本人が住んでいたことに驚いた」、「今後も、このような映像を見る機会がほしい」などの感想が寄せられ、改めて映像資料の重要さと、そういったデータを保存しておくことの大切さを感じることであった講演会でした。

(北方資料サービス課)

【わかりやすい健康に関する情報講座】

昨年度に引き続き、北海道江別保健所との連携講座第4弾「わかりやすい健康に関する情報講座」を開催し、8名が参加しました。

■日 時：12月14日（水）14：00～16：00

■会 場：研修室

■内 容：ミニ講座「本やインターネットで健康情報を探すコツ」

講師：北海道立図書館一般資料サービス課主任 木村 啓

講義「こころを元気に保つセルフケア ～眠れてる？睡眠は知らず知らずに忍び寄る
ストレスのバロメーター～」

講師：北海道江別保健所保健師 藤川 洋子 様

〃 奥村 園子 様

まず、当館職員により健康情報の調べ方を紹介するミニ講座を行いました。続いて、「こころを元気に保つセルフケア ～眠れてる？睡眠は知らず知らずに忍び寄るストレスのバロメーター～」と題して、江別保健所保健師のお二人からお話いただきました。

講義の前半は、新型コロナウイルスの流行によるストレスとこころの健康を保つためのセルフケアについて、後半は睡眠とストレスについて、専門家のお立場からお話いただきました。最後には、快眠ストレッチと題し、肩甲骨はがしなどの様々なストレッチをデモンストレーションもまじえながらご紹介いただき、座位と立位でできるストレッチは参加者全員で体験しました。

会場内では、本講座に関連する図書23冊と当館電子図書館で閲覧できる関連電子書籍7冊の紹介も行い、開始前や休憩時間に手に取ってご覧いただき、終了後に借りていく方もいらっしゃいました。



(一般資料サービス課)

展示を振り返って

【一般資料閲覧室】

○「まだ間に合う！SDGs」

期 間：9月1日（木）～10月27日（木）

「SDGs」とは平成27年9月に国連で採択された、持続可能でより良い社会の実現を目指すための世界共通の目標です。「貧困をなくそう」「飢饉をゼロに」等の17の国際目標と169の達成基準、232の指標から構成されています。SDGsが採択された9月25日を含む約1週間がSDGs



s週間になっていることにちなんで、より理解を深めるために役立つ資料110冊を展示しました。

○「短い文字で広がる世界 ～短歌・俳句～」

期 間：10月29日（土）～11月29日（火）

10月27日の文字・活字文化の日にならみ、短い文字で表現される短歌、俳句に関する本、文字に関する本の中から、大人から子どもまで手に取りやすいものを中心に166冊を展示しました。



○「科学道100冊 ～『知りたい!』が未来をつくる～ 2022」

期 間：12月1日（木）～1月29日（日）

全国開催の「科学道100冊2022」フェアに参加し、「情報の世紀」「光を追いかけて」「科学史タイムトラベル」の3つの旬なテーマ本と、時代を経ても古びない良書「科学道クラシックス」、計100冊を展示しました。



【医療健康情報コーナーミニ展示（一般資料閲覧室内）】

○「こころの健康に役立つ本」

期 間：1月4日（水）～2月26日（日）

令和4年12月14日に北海道江別保健所の保健師を講師に招き開催した講座「こころを元気に保つセルフケア ～眠れてる？睡眠は知らず知らずに忍び寄るストレスのバロメーター～」で関連資料として展示した図書のうち、貸出しができる21冊を展示しました。



加えて、ミニ展示期間中、講座テーマに関連する電子書籍7冊を、「メンタルヘルスお役立ち本～睡眠とストレッチの本～」と題し、当館電子図書館おすすめ本棚（トップ画面）で紹介しました。

【ビジネスコーナー】

○「ビジネスコーナーPickUp!」

令和4年12月から新たに、2階ビジネスコーナー内に「ビジネスコーナーPickUp!」と題したミニ展示を展開しました。

月毎にテーマを入れ替え、ビジネスシーンで役立つ、さまざまな本をご紹介します。12月は「効率的な仕事の進め方のヒント」、1月は「PRを考える」、2月は「アクティブシニアの働き方」、3月は「新社会人におすすめの本」のテーマで展示しました。



【えほんコーナー】

○「おなががりそう！おいしいえほん」

期 間：9月1日（木）～10月27日（木）

実りの秋にぴったりの“おいしいえほん”を集めました。ほかほかごはん、こんがりパン、やさしくだもの、カレーライス、ハンバーグなどの料理がでてくるえほん、ちょっぴりレシピが載っているえほんなど、おいしい品揃えが大人気でした。



○「絵本でオノマトペ」

期 間：10月29日（土）～12月27日（火）

「オノマトペ (onomatopée)」はフランス語で、擬声語を意味します。擬声語には、物音や声を真似て表現する「擬音語」と、状態や心情など音のしないものを音によって表す「擬態語」があり、例えば、雨が「ザーザー」降るのは擬音語、「しとしと」降るのは擬態語となります。

小さなお子さんにとっては、表現が簡潔で声に出した時のリズムが楽しいオノマトペはとても身近で、われわれ大人が無意識に「犬」を「わんわん」、「やわらかい」を「ふわふわ」等に言い換えるのも、その方が伝わることを感覚として分かっているからかもしれません。

今回は、オノマトペを使った絵本や、不思議な音と絵を組み合わせた絵本など、子どもたちの感性を育む絵本108冊を選び、展示しました。



○「いろいろな色の絵本」

期 間：1月4日（水）～2月26日（日）

色は、人を元気づけたり落ち着かせたり、心や行動に働きかけることがあります。赤、青、緑、黄、虹色など、様々な色が題材の絵本を集めて、展示しました。



(一般資料サービス課)

【一般資料閲覧室北方資料展示コーナー】

○「ヒグマ 闘いと共存の歴史」 道立図書館・文書館連携展示

期 間：7月1日（金）～9月29日（木）

北海道立文書館が江別へ移転してきたことを機に、3か月前から当室との初の連携展示を企画、テーマ候補を出し合い、連日、人里へのヒグマの出没が報道される中、ヒグマとヒトの関係について両館の古今の資料内容から決定。2か所のエリアで、5



つの主題「①ヒグマってどんな動物？②恐ろしい存在としてのヒグマ③狩猟の対象としてのヒグマ④アイヌ民族とヒグマ⑤ヒグマと共に生きる」に分け、当館は、子どもにも興味を持ってもらえるようヒグマを知るための図鑑を置き、文書館は、熊について触れられた貴重な古文書（原本そっくりのレプリカ）に意識文を付けました。親子参加の夏休み期間中の書庫ツアーで紹介するなど、昨今関心のあるテーマで自然や文化、歴史を学ぶきっかけとなる展示となりました。



○「美酒の大地」

期 間：10月1日（土）～12月27日（火）

全国的に苦境の酒造業界ですが、北海道のお酒づくりは活気づいています。新しい蔵ができて注目されている日本酒や、道内各地で続々とワイナリーが生まれているワイン、星のマークでおなじみのメーカーの始まりからクラフトビールまで歴史のあるビール、ジャパニーズウイスキーの代表の余市町他、ウイスキーやジンや焼酎などの蒸留酒。色々なお酒が北海道で作ら



れた始まりから現在までを辿れるようにしました。意外なエピソードも資料で紹介しました。

【北方資料閲覧室北方ミニ展示】

昨年度からブックトラックで開始したミニ展示（「クリスマスの北方絵本」、「当室所蔵のまんが」
「北方領土を知る本」）を今年度も行いました。

○「ヒグマに関する本」

期 間：10月1日（土）～9日（日）

北海道立文書館との連携展示の期間にガラスケースに入っていた貸出可能な資料をまとめて並べました。



○「縄文世界を旅する本」

期 間：10月10日（月）～22日（土）

令和3年7月27日、北海道・北東北の縄文遺跡群は世界文化遺産に登録されました。毎年10月8日から11月7日の「北海道文化財保護強調月間」（北海道教育委員会）にちなみ、「新しい」縄文時代に関する資料を集めました。



○「北海道の温泉本」

期 間：11月8日（火）～13日（日）

温泉が恋しい季節。道内の温泉紹介の本を集めました。



○「美味しいお食事と飲み物と」

期 間：12月18日（日）～1月13日（金）

クリスマス、年末年始のお出かけの参考、レシピ、料理に合う飲み物など北海道関係の本を集めました。



（北方資料サービス課）

研修事業

【令和4年度（2022年度）全道図書館専門研修〈経営（関係法規）〉】

『「図書館の自由に関する宣言 1979年改訂」解説』が18年ぶりに改訂され、第3版が令和4年5月に刊行されたことを契機に、テーマを図書館活動の「よ・り・ど・こ・ろ」と設定し、改めて憲法が保障する「知る権利」を支え、図書館運営の根本原則といえる「図書館の自由に関する宣言」を学ぶとともに、公立図書館の活動に必要な規程や内規・要領等について先行事例をもとに考察することを趣旨に開催しました。

基調講演では、宣言成立の経緯、戦前の「思想善導」機関としての図書館、宣言と憲法との関係性、資料提供の自由と資料収集の自由、近年の具体的な事例、図書館利用記録等、現代における利用者のプライバシーの問題等を中心に、分かりやすくお話していただきました。

講義では、利用者目線での図書館サービスの規程、要領等の策定についてのお話、続くグループワークでは活発な情報交換がなされ、各グループからは「掲示ポスターの制限」、「電子図書館の収集基準」、「除籍・延滞」、「寄贈本」などの規程が未策定であることの報告があり、あらためて“決まりごと”を整備する必要性を認識しました。



基調講演の様子

■期 日：11月17日（木）

■会 場：音更町文化センター

■参加人数：19名

■内 容：

基調講演「図書館の自由に関する宣言 ―図書館活動の「よりどころ」としての宣言―

講師：元藤女子大学教授 渡邊 重夫 様

講義「図書館の“決まりごと”を考察する」講師：北海道立図書館企画支援課主任 宮本 浩

グループワーク「図書館の自由」と図書館の規程・要領策定の課題

ファシリテーター：北海道立図書館企画支援課主任 宮本 浩

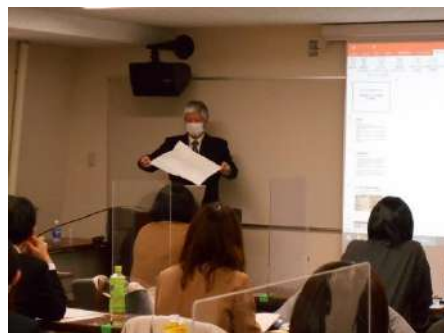
■事後アンケートから

- ・図書館の自由について歴史的背景を知ることができてよかった。
- ・図書館の自由に関する宣言について、改めて学び直すことができた。
- ・グループワークでは他市町村の課題や業務事情を知るとても貴重な研修会だった。

【令和4年度（2022年度）全道図書館専門研修〈サービス（地域資料）〉】

地域に関する資料の整備や活用といった地域資料サービスは、図書館が地域を支える情報拠点として機能するための重要な活動のひとつであり、「地域資料サービスの充実を目指して」というテーマを掲げて研修会を開催しました。

この分野に造詣の深い講師をお招きし、地域資料の収集・整理・保存と活用、サービスの展開について実践を踏まえながらご講義いただいたほか、道立文書館と、同施設内に移転した当館北方資料室を案内し、それぞれの機能や資料の収集・保存と利用について説明しました。また、参加の各館における地域資料コーナーの棚やサイン等の様子を示す写真と、特色ある資料やそれらの活用・PR方法等に関する情報を持ち寄って情報交換を行い、自館の新たな事業を企画する演習を通して、サービスの充実を考えました。



講義の様子



演習（発表）の様子

■期 日：12月8日（木）～9日（金）

■会 場：北海道立図書館、北海道立文書館

■参加人数：29名

■内 容：

講義「地域資料サービスの実践から展開へ」 講師：元小平市中央図書館長 蛭田 廣一 様
情報交換「各館の地域資料サービスの現状情報交流会」

進行：北海道立図書館企画支援課長 西岡 祐子

講義・施設見学①「北海道立文書館の機能と利用」

講師：北海道立文書館主査（普及閲覧） 吉田 千絵 様

講義・施設見学②「北方資料室の資料収集とその保存」

講師：北海道立図書館北方資料サービス課企画主幹 工藤 尚子

まとめ・演習「地域資料に関する自館の事業（取組）を考える」

進行：北海道立図書館企画支援課長 西岡 祐子

■事後アンケートから

- ・地域資料を内容による分類表と地理区分とで独自に分類している小平市の事例が参考になった。
- ・地域資料サービス充実のために、長期的な計画として自治体のほかOBやボランティアとも連携を取っていく必要を感じた。

（企画支援課）

令和4年度（2022年度）北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

・第1回 8月10日（水）

北海道立図書館研修室 出席委員 9名

議 題 令和3年度業務実績報告について

その他

・第2回 12月16日（金）

北海道立図書館研修室 出席委員 7名

議 題 会長及び副会長の選出について

令和4年度事業実施状況（中間報告）について

第4次北海道立図書館事業推進計画（素案）（令和5年度～令和9年度）について

その他

・第3回 3月10日（金）

北海道立図書館研修室 出席委員 9名

議 題 第4次北海道立図書館事業推進計画（令和5年度～令和9年度）（原案）について

北海道立図書館資料収集計画（案）について

令和5年度北海道立図書館運営計画（重点計画）（原案）について

夜間開館に関するアンケート調査結果（令和4年度実施）について

その他

今年度は図書館協議会委員の改選期で、令和4年11月から2年間の任期として、各関係団体等の推薦及び公募により10名の委員が就任しました。

今回の改選により、4名の委員が新しく就任し、また女性の委員は4名となりました。

協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。

道立図書館ホームページトップページ>道立図書館とは>北海道立図書館協議会

ホームページアドレス：<https://www.library.pref.hokkaido.jp/>

(管理課)

令和4年度（2022年度）
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

（公社）読書推進運動協議会では、「読書週間」事業のひとつとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と併せて独自に北海道表彰を行っており、今年度は次のとおり受賞が決定しました。

■全国表彰（1団体）

- ・おはなしの会ピッピ（東川町 平成8年設立）

■北海道表彰 本賞（5団体）

- ・栗小おはなし会（栗山町 平成13年設立）
- ・読み聞かせグループ アリス（函館市 平成3年設立）
- ・上ノ国町 読みきかせサークル もこもこ

（上ノ国町 平成23年設立）

- ・読み聞かせの会「おはなしたんぽぽ」（足寄町 平成18年設立）
- ・釧路市音訳の会 ともしび（釧路市 昭和52年設立）

■北海道表彰 奨励賞（1団体）

- ・推薦なし

受賞グループの詳細については、北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第41号に、受賞グループの寄稿文が掲載されています。『北読進協だより』は当館ホームページからご覧いただけます。

[道立図書館ホームページトップページ](#)>[図書館の方へ](#)>北海道読書推進運動協議会

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qjilds0000000fvt.html>

（企画支援課）



2022・第76回読書週間ポスター
（公益社団法人読書推進運動協議会）

令和4年度(2022年度)下半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	全道図書館新任職員研修会	令和4年 9月8日(木)～ 9月9日(金)	北海道立 図書館	道内の図書館等勤務1年未満の職員を対象とした、新任職員向け研修	42名	
2	ぶち図書館まつり	令和4年 9月17日(土)	北海道立 図書館	地域住民を中心に、道民が気軽に参加出来る催しを実施し、読書や図書館に親しむ機会を提供。事業を通じて協力団体等との連携を深める。	1,072名	入館者:1,072名
3	第23回資料で語る北海道の歴史 近藤重蔵の蝦夷地・上原熊次郎の江戸・箕田市二の札幌 ～身分と出世の物語～	令和4年 10月8日(土)	北海道立 図書館	古文書等の資料に詳しい講師を迎えて北海道の歴史を学ぶ一般向け講演会。	26名	
4	全道図書館専門研修<サービス (資料保存)>	令和4年 10月14日(金)	深川市 (経済センター)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	23名	テーマ:「基礎から学ぶ!本の構造と治し方」
5	北海道立図書館利用登録会	①令和4年 10月30日(日) ②令和4年 12月20日(火)	①紀伊國屋書店札幌本店 ②北海道武蔵女子短期大学	電子図書館や当館の利用促進PRを兼ねた出張利用登録会	①171名 ②107名	
6	北海道立図書館「日本食文化を巡る書庫ツアー」	令和4年 11月11日(金)	北海道立 図書館	昭和時代に出版された料理本や食に関する雑誌を中心に、普段は入ることができない書庫を案内しながら資料を紹介	9名	
7	全道図書館専門研修<経営(関係法規)>	令和4年 11月17日(木)	音更町 (文化センター)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	19名	テーマ:「図書館活動の『よ・り・ど・こ・ろ』」
8	北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館長会議	令和4年 11月18日(金)	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議及び講話	39名 (館長会議)	講話:「図書館とつくる地域の未来ー子どもの声は未来の声ー」 講師:吉成信夫様 (みんなの森ぎふメディアコスモス総合プロデューサー)
9	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①令和4年 11月22日(火) ～1月22日(日) ②令和5年 2月4日(土)～ 4月2日(日)	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介する。 ①「砂澤ピッキ展～北海道立図書館の蔵書から」 ②「サンリオ展～北海道立図書館の蔵書から」	—	
10	映像によみがえる北海道～北千島～	令和4年 12月3日(土)	北海道立 図書館	当館が所蔵する「ふるさと動画DVD」を上映するとともに、当時の時代背景について解説する講座。	23名	
11	全道図書館専門研修<サービス (地域資料)>	令和4年 12月8日(木) ～12月9日(金)	北海道立 図書館	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	29名	テーマ:「地域資料サービスの充実を目指して」
12	わかりやすい健康に関する情報講座	令和4年 12月14日(水)	北海道立 図書館	江別保健所保健師による、新型コロナウイルス流行によるストレスとこころの健康を保つためのセルフケア、睡眠とストレスについての健康講座	8名	
13	全道図書館専門研修<子ども読書(学校支援)>	令和5年 1月13日(金)	北海道立 図書館	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	20名	テーマ:「やってみよう!ブックトーク～最初の一步は大きな一步～」
14	道議会図書室・道立図書館連携展示事業	毎月、道議会図書室の新着図書 の紹介と合わせて実施	札幌市 (北海道議会図書室)	道議会図書室で毎月購入する新着図書に関連する分野の道立図書館所蔵資料を「新着図書+(プラス)コーナー」として展示	—	

令和5年度（2023年度）事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			北区振 第1回理事会・総会(21日 札幌市) 子ども読書の日(23日) こどもの読書週間(4月23日～5月12日) こどもの読書週間関連事業(下旬～5月上旬) 図書館記念日(30日)
5	図書館振興の月 北区振 管内図書館振興協議会等地方研究集会(5～2月 各管内で開催)		
6	北区振 全道図書館新任職員研修会(8～9日 当館)	日図協 公共図書館部会総会(東京都)	全公図 定期総会(東京都) 北読進協 総会(札幌市) 第1回北海道図書館連絡会議
7	北区振 全道図書館中堅職員研修会(6～7日 当館) 北日図連 総会・第1回理事会(山形県) 北日図連 北日本図書館大会(山形県)		第1回北海道立図書館協議会 北区振 「北海道図書館関係職員録」発行
8	子ども向け書庫ツアー		
9	北学図 北海道学校図書館研究大会(1～2日 苫小牧市) 北区振 北海道図書館大会(7～8日 札幌市)		
10	道立図書館まつり(上～下旬) 北方資料講演会	北区振 全道図書館専門研修(企画広報)(19日 函館市) わかりやすい・健康に関する情報講座	北区振「北海道の図書館-令和5年4月1日現在-」発行 図書館総合展(24～25日 神奈川県(かわ)) 読書週間(10月27日～11月9日) 文字・活字文化の日(27日)
11	北読進協 優良読書グループ表彰 北区振 第2回理事会・全道図書館長会議(10日 札幌市) 日図協 全国公共図書館研究集会(サービス、総合・経営部門)(和歌山県) 書庫ツアー 北方資料講演会	文科省 図書館地区別(北日本)研修(福島県) 日図協 全国図書館大会(16～17日 岩手県) 北日図連 北日本図書館連盟研究協議会(岩手県)	第2回北海道立図書館協議会 第2回北海道図書館連絡会議
12	北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書館読書感想文コンクール表彰式(札幌市) 北区振 全道図書館専門研修(レファレンスサービス)(7～8日 当館) 北方資料講演会	日図協 全国公共図書館研究集会(児童青少年部門)(長野県)	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座		北区振 全道図書館専門研修(利用者サービス)(26日 オンライン)
2			北日図連 第2回理事会 第3回北海道図書館連絡会議
3		第3回北海道立図書館協議会	

<凡例>

・北区振・・・北海道図書館振興協議会 ・北日図連・・・北日本図書館連盟 ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
・北学図・・・北海道学校図書館協会 ・日図協・・・日本図書館協会 ・全公図・・・全国公共図書館協議会

北海道立図書館報 第214号

令和5年(2023年)3月23日発行

北海道立図書館長 川端雄一

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代 表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (一般資料室)

386-8523 (北方資料室)

FAX: 011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: <https://www.library.pref.hokkaido.jp>